



作成：中之庄小学校

## 対話で深める俳句づくり — ICTを活用して —

【内容】第5学年国語科「日常を十七音で」

【使用アプリ】ロイロノート

【事例紹介】

### <俳句の創作シート>

俳句の創作・推敲に、上の句、中の句、下の句の三つのカードで構成したシートを用いました。

① ワークシート1「創作シート」  
三つのカードに分けたことで、俳句の構成を意識し、創作活動に取り組むことができました。創作後に俳句にこめた思い（創作の意図）も併せてシートに記録しました。

② ワークシート2「推敲シート」

創作した俳句をグループで紹介し合い、互いにアドバイスし合ってより良い作品に仕上げました。上の句、中の句、下の句をそれぞれ別のカードにしたことで、俳句の推敲でよく用いられる語順の入れ替えや字句の変更などの操作が容易で、活発な話し合いが行われました。

【終わりに】

ICTを活用することにより、話し合いや共有などを効率良く行うことができ、推敲の過程も記録することができ、評価に生かすことができました。一方で、字句の変更によって、季語がなくなってしまう児童もいました。季語の入った句のカードを別の色に変えるなど、次回の指導に向けて改善を図っていきたいと思います。

### <俳句の推敲シート>

☆教育委員会指導主事より☆

教師側の視点からの授業における ICT 活用の利点としては「評価のしやすさ」が挙げられます。児童の学習における推敲や試行錯誤の段階を意図的に記録しておくことで、教師は児童が提出した成果物だけでは計り知れない学習過程を把握することができます。また、場所や時間を選ばず確認することができるのは利点と言えるのではないのでしょうか。「便利だから使う」という ICT 活用の原点につながる事例報告でした。ありがとうございました。